



平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社スパンクリートコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 原 田 穰
(JASDAQ・コード 5277)
問合せ先 常務取締役企画室長 村 山 典 子
(TEL. 03-5689-6311)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月13日の決算発表時に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想等を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の業績予想数値との差異（平成20年4月1日～平成20年9月30日）
(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	2,150	50	60	31	3円88銭
今回実績 (B)	2,101	116	156	7	0円88銭
増 減 額 (B-A)	△49	66	96	△24	—
増 減 率 (%)	△2.3	132.0	160.0	△77.4	—
(ご参考)前年同期実績 (平成20年3月期中間)	2,260	117	196	66	8円18銭

2. 通期の業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）
(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	4,450	140	170	92	11円53銭
今回修正予想 (B)	4,200	165	205	20	2円43銭
増 減 額 (B-A)	△250	25	35	△72	—
増 減 率 (%)	△5.6	17.9	20.6	△78.3	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	4,450	213	299	128	15円97銭

3. 業績予想の修正の理由

(1) 第2四半期累計期間

売上高につきましては、スパンクリート事業で売上数量が計画比未達となったため、前回予想を若干下回る見込みであります。営業利益及び経常利益につきましては、不動産事業（ビル賃貸）は堅調に推移しており、スパンクリート事業も売上粗利単価の改善が進展したことから、前回予想値を大きく上回る見込みであります。一方、純利益につきましては、米国発の金融危機に端を発した株式市況の低迷による有価証券の強制減損処理等の特別損失を計上せざるを得ないため、前回予想を下回る見込みであります。

(2) 通期

通期につきましても、第2四半期累計期間の業績予想数値に差異が生じたこと、また、下期も厳しい経営環境の継続が予想されることから、前回公表の予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本紙資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上